

設立 昭和 63 年 (1988) 5 月 23 日
事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋 1-7-3 大丸北炭屋町ビル 6 階
TEL. (06) 6244-1008 FAX. (06) 6244-1010
WEB. <http://sembarotary.club> E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp
例会 毎週月曜日・12 時 30 分・ホテル日航大阪 Tel. (06) 6244-1111
会長 岡本 真太郎 幹事 中嶋 啓至 会報広報委員長 坂本 田鶴子



四つのテスト／言行はこれに照してから I. 真実かどうか II. みんなに公平か III. 好意と友情を深めるか IV. みんなの為になるかどうか

第1556回 例会 2024年（令和6年）12月2日

（疾病予防と治療月間）

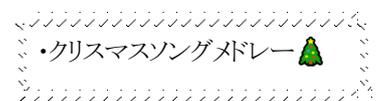
本日のプログラム

（本日のプログレス 清水 清一 副SAA）

- ロ-タリ-ソング 「君が代」「四つのテスト」
- 会長の時間 ○ 幹事報告 ○ 委員会報告 ○ ニコニコ箱報告 ○ 出席報告
- 12月お誕生月会員お祝い
- 卓話 「井澤金属株式会社 150年の歩み」 井澤 武尚 会員
- 理事会 4階「藤の間」 13:40～14:40

前回（11月25日）例会記録

◇プログレス 岩崎 寿英 副SAA



1. 来客紹介 坂本 田鶴子 親睦委員

ゲスト: 0名 地区外: 0名 地区内: 2名 合計 2名

2. 会長の時間 岡本 真太郎 会長



みなさん、こんにちは。会長の岡本です。

今月 15 日に会長幹事会が行われ、そこで延原バスターガバナーより「3years Rolling Goals」アクションプランの説明がありましたので、本日の会長の時間を使いみなさんに共有しておきたいと思います。

国際ロータリーでは、クラブの発展と活性化のために、活動や目標の継続性を重要な課題と位置づけ、2024-2025 年度をトライアル期間の初年度として理解と協力を要請しています。国際ロータリーの提唱することの「3years Rolling Goals」を新たな挑戦のチャンスとして捉えて、我がクラブでも会長エレクト・副会長・クラブ戦略計画委員会と共に、検討してはどうかと考えています。下記に「3years Rolling Goals」アクションプランの説明資料から一部を抜粋して添付しておきますので、お目通しいただけるようお願いいたします。

国際ロータリーの理事会は、活動や目標の継続性を重要な課題と位置づけ、2024-2025年度をトライアル期間の初年度とし、地区やクラブに対し理解と協力を要請しています。
これはクラブの発展と活性化のためにおこなうものです。
私たちが時代の変化とともに具体的に变化していくために、RIの提唱するこの方法を「新たな挑戦のチャンス」と捉え実践してみましょう。



継続性 Continuity
3年間の目標を設定し、通常の1年間の焦点にとどまらないようにします



**シンプルさと整合性
Simplicity & Alignment**
シンプルで明確な目標設定と達成までの検証、そしてロータリーの優先事項との整合性をとることで今まで以上の成果が期待できます



**地域適応力
Regional Adaptability**
クラブがその地域に適した目標を設定することで地域での存在価値を高めます

3-Year Rolling Goals 具体的にどうすればよいのでしょうか？

クラブ

3年間の目標を設定するためには、クラブ戦略計画委員会、理事会、向こう3年間の会長候補者や委員長などを巻き込んだ議論が必要になります。場合によっては委員長の任期を複数年にするなど、より継続性を担保する方法をクラブの新しい文化として取り入れる必要があるかも知れません。

1. 【クラブセントラルへの次年度目標入力】
3年間の目標入力と管理は、クラブセントラルでおこないます。クラブセントラルは現在RIによって3年の目標が設定できるように改変中ですので、まずは次年度の目標を入力しましょう。（次のステップの「3年間の目標フォーマット」によって変更が出た場合は再度入力直すことが可能です。）次年度の目標を入力することが、クラブ優秀賞受賞への第一歩となります。

2. 【クラブ満足度調査の実施】
クラブ会員が今のクラブライフに満足しているかどうか、居心地よく感じているかどうか、調査で確認してみましょう。

3. 【クラブ戦略計画の立案】
3年後、5年後のクラブがどうありたいのか、満足度調査の結果をもとに目標を設定しましょう

4. 【クラブ行動計画推進リーダーの選任】
3年間の目標設定については、2024-25年度からスタートし、以降3年間をパイロット期間として目標（Goals）を評価・再設定（Rolling）します。これをクラブ単位でリードするクラブ行動計画推進リーダーを選任してください。2025年2月ごろに地区内のリーダーを集め、あらためて目標設定についての会議を行う予定ですので、それまでに選任いただくようお願いいたします。

【目標設定の見直し】
毎年目標の達成度を検証し、再設定して下さい。また、4半期ごとに進捗や達成度の管理を行なうことが推奨されています。

3. ニコニコ報告 甚田 隆康 親睦委員

倉咲 会員・・・日本開運学協会理事 木村れいこ先生のYouTubeに初出演させて頂き、開運ファッション鑑定の申込みが
沢山入りました。感謝の気持ちを込めてニコニコさせて頂きました!!

森田 会員・・・先週3件顧問契約を頂きました。ありがとうございます。

中井 会員・・・お久しぶりでございます。

瀬島 会員・・・本日は歓迎会を開いて下さり、ありがとうございます。

平山、岡野、中嶋、大島、松村、山川、藤井、井澤、新川、坂本、小島、塩尻、前川、岡本(真)、清水、俣野、篠藤、岩崎、
大久保、原山、甚田、片岡、多賀、中西、林(英)、廣、中村、盆子原、洪、野田、北野、伊藤、

各会員・・・新世界どうなる 通天閣の身売り 揺れる歓楽街

4. 出席報告 岩崎 寿英 副SAA

会員総数 45名 出席率計算会員数 43名 出席会員数 41名(内オンライン2名) 出席率 95%

第1549回(10月28日) 修正出席率 100%

5. 委員会卓話 ローター財団委員会 塩尻 明夫 委員長



皆さんこんにちは。

本年度クラブ財団委員長の塩尻です。本日は財団委員会卓話を担当させていただきます。

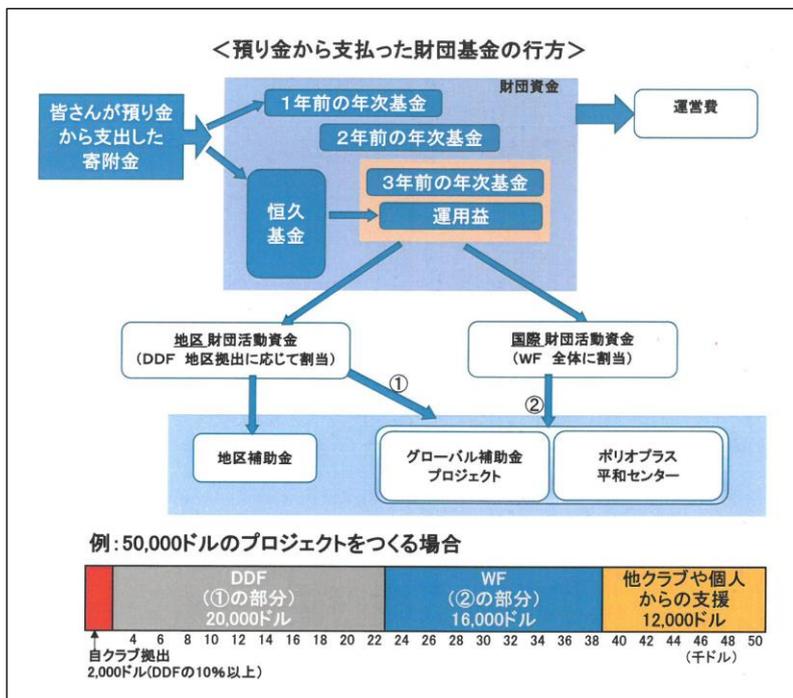
財団については、割とベテランの方からも「よーわからんねん」と言われることが多いです。

まして入会年次の浅い皆さんは、「寄付だけ取られてどういう意味があるのか」という疑問を持たれているかもしれません。通常はロータリー財団の歴史から制度の説明を進めるのですが、今回はそういうのを全部端折って、分かりやすい話に絞って説明したいと思います。

本日お話しする論点は2つ。財団補助金とは何か、という話と、ポリオの話です。

1. 財団補助金とは何か

・財団補助金について図で説明します。



2. ポリオの話(尾身さんの講演)

尾身茂さんについては、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の副座長(座長は国立感染症研究所の脇田隆字所長)としてよくご存知と思います。

実はこの尾身さん、それ以前に医師として活動したのち厚生省を経て世界保健機関(WHO)に入り、西太平洋地域でのポリオ根絶に向けたプロジェクトを指揮し、WHO 西太平洋地域事務局の事務局長を務めています。

この尾身さんが、先日のクラブ財団委員長会議で短い時間ですが講演されました。

この内容を記録してきたので残りの時間でご紹介したいと思います。



(尾身さん講演抜粋)

①パンデミックについて

残念ながら、今後も以下のような原因でコロナ禍のような事象は起きると思う。

- ・人の動きの増加 例:スペイン風邪 米国で始まり、第一次世界大戦で米軍兵士がヨーロッパへ移動したことにより伝播。どの国も感染者が多かったが、スペインは大戦に参戦していなかったため公表し、目立ってこの名前になった
- ・野生動物減少・家畜動物増:最近の感染症はほとんどが動物由来だが、動物

も免疫が弱くなり、動物内で免疫力で抑えられていたウイルスや細菌が活発化→人間に感染。パンデミックのほとんど全ては呼吸器感染症であるため、ワクチンや治療薬などの対処ができるまでの対処は「人と人の接触を断つ」方法しかない。

②ポリオとワクチン接種について

- ポリオの診断は非常にむずかしく、撲滅に乗り出した当初は現場で発見することが困難だった→急性弛緩性麻痺を全て報告して診断、という方法を採用した
- 中国でポリオにかかったのは、第一子ではなく第二子以降のみだった→予防接種台帳に書くと「一人っ子政策」違反で追求されるので、ワクチン接種を受けなかった
- 戦争地域・紛争地域での対処には大きな問題がある ガザ地区での対応は決して初めてではない

③WHOでの活動

- WHO で活動を始めた当初、どんな団体も総論賛成だったがお金は出してくれなかった
- 10年間とコミットしたのに、プロジェクト開始から3年経過まで一銭も入らなかった
- その後、ロータリーが「WHOの方針を一部変更(具体的には「中国だけ4歳以下」)してくれるなら2億近く出す」と言ってくれた
- しかし、本部の担当者(ロバート氏)は「金欲しさのためにWHOの方針を変えるとはありえない」と拒否
- 喧々諤々の末、ロバートを「長いトイレ」に行かせその間に動議出して決めた
- ロータリーの拠出は周囲に影響を与え、すぐ政府に伝わった→この結果国が8億円上乗せ(細川内閣)
- その後は、ビルゲイツの参加、中国で江沢民が頑張るなど目覚ましい進歩を遂げた
- しかし最後の一步が常に一番難しい 今まで何千何万とやってきた労力と同じくらいの力を最後の数件に投入しなければ全ての意味がなくなってしまう
- また今辞めると何が起こるか ビルゲイツは後から来た やめたあと、根絶できたらビルゲイツだけの手柄になってしまう。努力も水泡に帰す
- 「ポリオ疲れ」になってるかもしれないが、根絶まで協力してほしい

6. イニシエーションスピーチ ◎ 林 英彦 会員



はじめまして。林英彦(はやし ひでひこ)と申します。皆様の温かい歓迎に心より感謝申し上げます。

●プロフィール

1971年11月7日生まれの53歳です。

高校生まで北海道で過ごし、大学進学(近畿大学農学部水産学科)を機に関西に移り住みました。

家族は妻、息子(小学5年生)と娘(小学3年生)で、その他、猫1匹、カブト虫の幼虫45匹、川魚・ドジョウなど15匹と暮らしています。

●仕事について

新卒で入社した和食レストラン「かごの屋」で15年勤務し、最後は人事部長を務めておりました。当時、人事部長として社労士に相談する立場だったのですが、「法律論に留まらず、もっと踏み込んだ相談ができる社労士がいれば助かる」と感じていました。また、同じ思いを抱える経営者は多いのではないかと考え、2012年3月にフォレスト社会保険労務士事務所を創業しました。現在は正社員4名(社労士2名、受験生2名)で、スタッフ全員が社労士資格を持つ事務所を目指しています。お取引先の業種は多様で、上場企業から少人数の会社まで幅広くサポートさせていただいております。また、採用や人事制度構築、月1回出社する社外人事部長といったユニークなサービスも提供しております。

●経営理念について

「イキイキと働く人を世の中にもっと増やしたい」が経営理念です。

実際にご相談いただく労働トラブルは、表面的には法律の話をしていきますが、話を深めていくと職場の人間関係やコミュニケーションの課題に行きつきます。また、職場で働く従業員も家に帰れば、父や母であることが多いですから、職場の楽しい気持ちをそのまま家庭に持ち帰れるようにしてあげることが、子どもに対しても良い影響を与え、結果的に良い社会を築くことにつながるのではないかと思います。良い職場をつくり、良い社会をつくる。この考えは、ロータリークラブの奉仕の精神とも重なる部分があると感じています。これからも、大阪船場ロータリークラブの一員として、地域や社会の発展に貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

7. 退会ご挨拶 坂本 田鶴子 会員



2020年11月に岩崎会員のご推薦により入会され、4年間会員として活動されました。大阪船場ロータリークラブの会員として例会に出席されるのが今日で最後となりますが、大変お世話になりありがとうございました。

☆☆☆ 新入会員歓迎会 ☆☆☆

2024年11月25日(月) 18:30～ 於:とらふぐ屋

親睦委員長 澤田 宗久

【倉咲 羽杏会員 瀬島 京子会員 林 英彦会員 森田 真会員 歓迎会】

11月25日(月)18:30～ とらふぐ屋にて11月に入会された4名の歓迎会を総勢29名で開催いたしました。岡本会長歓迎の挨拶の後、平山会員の乾杯でスタートし、皆さん和気あいあいとした雰囲気、たくさんの会員からご挨拶いただきました。

倉咲さん、瀬島さん、林英彦さん、森田さん、どうかこれから宜しくお願いいたします。



☆次回12月9日(月)例会予定

- ・例会・年次総会 4階「蘭の間」 17:00～17:45
- ・クリスマス家族懇親会 5階「鶴の間」 18:00～20:30